瀬戸市美術館企画展

瀬戸の近代陶磁

2023年12月2日(土)～2024年4月14日(日)

開館時間　9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日　12月12日(火)、12月28日(水)～1月4日(木)、1月9日(火)、
2月5日(月)～2月9日(金)、2月13日(火)、3月12日(火)、4月9日(火)

入館料　一般500円[400円]／高大生300円[240円]
瀬戸市内中学生以下、65歳以上、証明、障害者手帳(ミライロID可)をお持ちの方は無料
※20名以上の団体は[ ]内の入館料

主　催　瀬戸市美術館、公益財団法人瀬戸市文化振興財団

瀬戸市美術館
Seto City Art Museum
〒489-0884 愛知県瀬戸市南宮町113-2
TEL 0561-84-1003 FAX 0561-85-0410
E-Mail art@city.seto.lg.jp URL http://www.seto-cal.jp/

◇松村大助(上海金原社海郎社版)明治時代後期 表3-45.4 ◇「宮坂&春秋窯文化財」田中千加(六代)(海下春雄千春社版)明治14年(1881) 表3-45.3 ◇小川本村窯(初代)(海下春雄社版)明治時代後期 表3-45.5

瀬戸市美術館企画展

瀬戸の近代陶磁

瀬戸で磁器の製造が開始されたのは、江戸時代後期のこととされ、瀬戸村においては享和元年(1801)、加藤唐左衛門や加藤吉右衛門ら16名が陶器から磁器生産へ転業し、文化四年(1807)、加藤民吉が九州から磁器製造にかかる技術を持ち帰ったことで、生産が拡大しました。窯屋たちは藩の保護の下、陶磁器製品の生産量等を管理していましたが、明治維新による廃藩と共に、蔵元制度や窯株制度が撤廃されました。これにより窯屋の経営が一時は困窮するものの、自由競争での陶磁器生産ができるようになったことで、徐々に活力を取り戻していきます。

明治時代になると、日本政府は殖産興業を押し進めるとともに、美術工芸品の海外輸出にも力を入れました。また、政府は欧米で盛んに開催される万国博覧会に積極的に参加し、瀬戸からは豪華絢爛で技巧的な染付磁器が出品され、数々の賞を受賞しました。

また、瀬戸で素地を製作し、東京、横浜、名古屋などで上絵付を行った製品も数多く海外に輸出されました。優美かつ精緻な上絵付は各国の関心を集め、欧米におけるジャポニズムの発展の一翼を担います。それと同時に、欧米の窯業技術の習得にも力を入れていきます。酸化コバルトによる染付の絵付や石膏型を使用した成形法など西洋の窯業技術が瀬戸にもたらされ、今まで培ってきた技術と相まった新たなやきものづくりへと発展していきました。

本展では、海外で高い評価を得た明治時代の瀬戸の陶磁器48点を展示します。当時の最先端技術によって製作され、瀬戸が世界に誇ったやきものの魅力をご紹介いたします。

【左から】加藤拙四郎・(画)大出東皐《染付新量三郎下向図磁板》明治7年(1874)、62.0×41.2／加藤繁十(二代)《染付機関山水図花瓶》明治時代前期、高さ27.8／川本樹吉(初代)・七宝会社《上絵金彩菊垣雀図大花瓶》明治時代前期、高さ75.2／川本半助(六代)《磁胎七宝波に花蝶文耳付花瓶》明治時代前期、高さ30.4／竹内忠兵衛《石目焼鉄絵図花瓶》明治時代中期、高さ30.8

同時開催

企画展「中谷聡石彫展」
令和5年12月2日(土)～令和6年2月4日(日)

企画展「瀬戸蔵セラミック&ガラスアート 交流プログラム 招へい作家作品展」
令和5年12月2日(土)～令和6年2月4日(日)

特別展「加藤英水彩画展」
令和6年2月10日(土)～4月14日(日)

近隣施設のご案内

瀬戸蔵ミュージアム　TEL:0561-97-1190

企画展「瀬戸の鉄絵皿」
令和6年1月20日(土)～4月14日(日)

瀬戸市新世紀工芸館　TEL:0561-97-1001

企画展「第20期研修生修了作品展 第21期研修生作品展」
令和6年1月20日(土)～3月17日(日)

企画展「The world reflected on the material」
令和5年11月18日(土)～1月14日(日)

染付工芸館　TEL:0561-89-6001

企画展 瀬戸染付詩物語「－文字の景色－」
令和6年1月10日(水)～3月24日(日)

[交通案内]

駐車でのアクセス

■名古屋駅から(所要時間約1時間)
地下鉄東山線で「栄」へ、名鉄瀬戸線に乗り換え「栄町」から「尾張瀬戸」下車、徒歩13分。

お車でのアクセス [駐車場:無料(500台)]

■長久手I.C.から(所要時間約30分)
東名高速道路「長久手I.C.」を降りて瀬戸方面へ。グリーンロード「愛・地球博記念公園」、または「八草I.C.」まで行き、左折(北)し、瀬戸市街地へ。

■せと赤津I.C.から(所要約10分)
東海環状自動車道「せと赤津I.C.」を降りて瀬戸市街地へ。

瀬戸市美術館
Seto City Art Museum

[お問い合わせ]
〒489-0884 愛知県瀬戸市西追町113-3
TEL 0561-84-1093 FAX 0561-85-0416
E-Mail art@city.seto.lg.jp
URL http://www.seto-cul.jp/

瀬戸市文化センター

THE CITY OF SERAMICS SETO, JAPAN
しあわせもん せとものの

日本遺産のまち 瀬戸市